



文化庁 大規模かつ質の高い文化芸術活動を核とした
アートキャラバン事業

The
Fujiwara
Opera

2021 グランドオペラフェスティバル in Japan

藤原歌劇団公演

蝶々夫人

Madama Butterfly

総監督：折江忠道 General Artistic Director/Tadamichi ORIE

プッチーニ作曲 オペラ全2幕 <字幕付き原語(イタリア語)上演>

G.Puccini: MADAMA BUTTERFLY Opera in 2 Acts in Original Language

ある晴れた日に
最愛の人を待ち続けて

●指揮：松下京介 Kyosuke MATSUSHITA

●演出：栗國安彦 Yasuhiko AGUNI

●再演演出：久恒秀典 Hidenori HISATSUNE

●演出：立花寶山 Houzan TACHIBANA

蝶々夫人 小林厚子
Butterfly Atsuko KOBAYASHI

ピンカートン 藤田卓也
Pinkerton Takuya FUJITA

シャープレス 井出壮志朗
Sharpless Soshiro IDE

スズキ 但馬由香
Suzuki Yuka TAJIMA

ゴロー 松浦 健
Goro Ken MATSUURA

ボンゾ 豊嶋祐壹
Bonzo Yuichi TOYOSHIMA

ヤマドリ 安東玄人
Yamadori Gento ANDO

ケイト 北蘭彩佳
Kate Saika KITAZONO

神官 坂本伸司
Commissario Shinji SAKAMOTO

●合唱：藤原歌劇団合唱部
Fujiwara Opera Chorus Group

●管弦楽：テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ
Orchestra del Teatro Giglio Showa

2021

10.29 金 14:00 ●開場 13:00
●上演時間：約2時間45分
*13:15 から会場内にて作品解説をいたします。

下関市民会館 大ホール

・ Ticket Information ・

S席 ¥7,000 A席 ¥5,000 B席 ¥3,000 C席 ¥2,000 (税込)

下関市文化振興財団「友の会」先行発売 2021年8月7日(土) 10:00～

一般発売 2021年8月14日(土) 10:00～

お問い合わせ・予約

日本オペラ振興会チケットセンター 03-6721-0874(平日10:00～18:00)
<https://www.jof.or.jp>

チケット販売所

チケットぴあ <https://t.pia.jp> 0570-02-9999 (Pコード：198-876)

ローソンチケット (Lコード：61678)

下関市民会館 083-231-6401 (9:00～19:00)

窓口 9:00～19:00 ※発売日のみ 13:00 から受付

主催：オペラキャラバン・ジャパン実行委員会、公益財団法人日本オペラ振興会

共催：公益財団法人下関市文化振興財団

蝶々夫人

C. Puccini

Madama Butterfly

Opera in 2 Acts in Original Language

愛を信じ裏切られ、悲しく散った

ちいさな蝶の儚い物語

1984年の新制作以来、藤原歌劇団が大切に受け継いできた栗國安彦演出の美しいプロダクションによる「蝶々夫人」を下関市民会館大ホールで公演します。

オペラ「蝶々夫人」は、日本を舞台にし「君が代」「お江戸日本橋」「宮さん宮さん」「かっぽれ」など、純日本旋律をふんだんに取り入れたプッチーニの色彩豊かな作品として、全世界で親しまれている名曲です。タイトルロールの蝶々さんには、藤原歌劇団のみならず新国立劇場などでも同役で大成功を収め絶賛を博しているソプラノの小林厚子が満を持して登場。ピンカートンには山口県出身で数々の公演で成功を収めている大人気テノール、藤田卓也が務めます。シャープレスには、近年若手バリトンとして頭角を表している井出壮志朗が出演。そのほか、これまで藤原歌劇団を支えてきた歌手たちと次世代を担う歌手たちが、プッチーニの名曲をお届けいたします。指揮には、数々の公演を成功に導くオペラのスペシャリスト松下京介がその手腕を発揮します。管弦楽は、この「蝶々夫人」を得意とするテアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラが担います。下関市(旧赤間関市)で誕生した“我らのテナー”藤原義江が創立した藤原歌劇団が、37年以上大切にしてきた「蝶々夫人」を下関の皆様にお届けいたします。どうぞお楽しみに！

Cast



指揮：松下京介
©BANAZO



演出：栗國安彦



再演演出：久恒秀典



振付：立花實山



小林厚子
©Yoshinobu Fukaya



藤田卓也



井出壮志朗



但馬由香
©Yoshinobu Fukaya



松浦 健



豊嶋祐壺
©Yoshinobu Fukaya



安東玄人



北園彩佳



坂本伸司

Story

長崎。没落士族の娘である蝶々さんは、母親との生活を支えるために芸者をしている。蝶々さんは女衞のグローに紹介されたアメリカ海軍の士官、ピンカートンと結婚式を挙げる。しかし、ピンカートンは蝶々さんを長崎に駐留する間の妾としか考えていなかった。

「次に駒鳥が巣を作るころには帰ってくる」と言い残してピンカートンが本国に帰って3年。蝶々さんはふたりの間に生まれた金髪の息子を育てながらひたすら彼の帰りを待っている。ある日、彼の乗った船が長崎の港に入る。喜ぶ蝶々さんだが、彼はアメリカ人の本妻ケイトを伴っていた。すべてを悟った蝶々さんは子供を彼らに託し、ひとり自害して果てるのだった。

Staff

合唱指揮：須藤桂司 美術：川口直次 衣裳：緒方規矩子 照明：奥畑康夫、西田俊郎
舞台監督：菅原多敢弘 副指揮：玉崎優人 演出助手：橋詰陽子